



大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyou
Elementary School

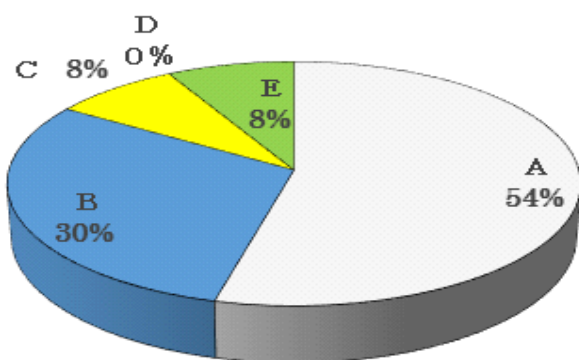
HP : <http://www.taisyo.obihiro.ed.jp>

No.3 2

平成29年7月21日②

七中エリアの日「アウトメディアデー」に感想が寄せられました。

アウトメディアデー第1回目
7月7日の集計



- A どうしても必要な電話機能、メール、ライン等以外は、終日、使用しない。
- B 時間を決めて見たり、遊んだりする。
- C 食事の時間だけは使用しない。
- D 今回は取り組まないが、今後の七中エリアの日に取り組む。
- E その他

(保護者の皆様から寄せられた感想)

- たまにあるのは、いいことだと思います。
- 月に1度は多いので、年2~3回で良いと思います。
- 子どもと話す機会が増えた気がするので、良かったです。
- 夕食の時間からねるまでTVとゲームをやめてみました。みんなで絵をかいたり、ゆったりとした時間でした。
- お出かけしていたお陰で時間があっという間にすぎ、意識的に子供達も我慢することなく取り組めたので今回はとてもスムーズに取り組めました。ゲームしたい！TVが見たいとさわがれずに楽しく終わって良かった。
- 3日位前から「アウトメディアデー」のことを話題に出して説明していましたが、当日も「そういう日なんだ」とすんなり受け入れ、スムーズに取り組めました。普段も全然見ない日がありますが、翌日朝「今日は見られるんだね！」と達成感を感じつつテレビをつけていました。
- 毎日少年団で忙しくしているので、特に依存などの心配はしていませんが、今回、この取り組みで、電子メディアはやりすぎてはいけないものだと子供達が知る良い機会でした。
- 本人が意欲的に取り組んでくれたので、良かったです。
- 部活もあり、子供達と話をしながら食事中に取り組めました。「今日頑張った事」をテーマに話をして「へえーそうだったんだ」と、子供も私も驚いたり笑ったり楽しい時間でした。夫が不在だったのでテーマについて聞いてみたかったです。
- 意識しすぎて「ママ、ママ」という声が多く大変だった。それでもいつもと変わらず本を読んだりトランプをして良かった。1年生なので次からは慣れてくるでしょう。
- 午前中は覚えていて取り組みましたが、夕方には忘れてしまいあまりできませんでした。
- 今回は食事の時以外はテレビを見たりしていなかったの、いつもよりはテレビを見る時間は短かったと思います。
- ゲームは病院の待ち時間の時にしかやらないので、全然平気だと思います。ただ、今回の7日(金)がたまたま病院の日で、2時間程の待ち時間を本を読んで絶えていました。



過日、取組をお願いしてありました「七中エリアの日(毎月7日)」～アウトメディアデー～の様子を整いましたのでお伝えします。今回は7月7日分で、これまでに13世帯の方々より取組の様子や感想をいただきました。以下に概要をまとめましたので、ご覧ください。右の図は、今回の取組の様子をグラフ化してわかりやすくしたものです。傾向としては、Aの全く使用しない、Bの時間を決めて使用するが割合として多くなりました。また、保護者の感想と子どもたちの感想とも、肯定的にとらえる感想が多く、理解と関心の高さに感動しました。ご協力ありがとうございました。

毎月7日は「七中エリア(大正・愛国)の日」、そして、

アウトメディアデー

各ご家庭でご相談いただきご協力をお願いします。

「アウトメディアデー」とは、電子メディア(テレビ、ゲーム、スマートフォン、YouTube等)を排除するのではなく、過度の接触時間を減らし、自分自身の時間・家族団らんの時間・人と人とのつながりの時間を大切にすることが目的です。



七中エリアでは、昨年度、子どもの基本的な生活習慣の確立や家族団らんの時間を大事にすること、読書や学習の時間を大事にすることを共通の取組として、「ノーテレビ・ノーゲームデー」の認知と感想を各家庭にお願いをいたしました。保護者の皆様や子どもたちから、「家族がじっくりかかわる時間がとれてよかった」等の感想を多くいただきました。誠にありがとうございました。

近年、様々な電子メディアが普及し、長時間使用、不適切な使用等が人間関係に影響を与えたり、心身の健康を崩したりすることが新たな課題となってきています。そこで、各ご家庭でどのような取組ができるか話し合い、内容を決めて下さい。(例1)どうしても必要な電話機能、メール、ライン等以外は、終日、使用しない。(例2)時間を決めて見たり、遊んだりする。(例3)食事の時間だけは使用しない。その他、いろいろな取組が考えられると思います。電子メディアの接触時間・使用方法を見直し、全ての子どもたちに、ネット利用も含めた望ましい生活習慣の定着を目指しましょう。

必須小中連携事業(エリアファミリー連携)
異校種間の連携・交流と地域の大人が協力がかりで児童生徒の学びと育ちをつなぐ仕組みとして平成24年に始動しました。

七中エリアファミリー
帯広第七中学校 大正小学校 愛国小学校
ことぶき保育所 愛国保育所
大正児童保育センター 愛国児童保育センター

- いつもテレビというよりはユーチューブが好きなのですが、7日はアウトメディアデーと伝えており、兄弟3人でレゴや戦隊ごっこ、かくれんぼなどで遊びをしていました。ゲームやユーチューブも毎日ではなく、たまに・・・くらいの程度なのですが、この日があると一区切りとして親もゆっくり気にせず過ごせたとします。
- 子供は時間を決め、それを守って(守らされて)いるので、その時以外は使用していない。子供はスマホ、ゲームは持っておらず、金曜日はTVを見られる日ではなかったため普段通り過ごした。親が子供のいる所でメディアを使わない事に取り組み、子供と早く寝た。親の方ががまんを要しました。とても良い取り組みだと思う。子供達にもメディアの影響を伝える事もしてほしいと思う。

(子どもたちから寄せられた感想)

- いつもならゲーム・テレビをしていたけど、花火をみんなでやれて良かった。
- すぐにねる事ができました。
- 野球のあとなので、少しの時間だった。
- 当日朝、テレビに「きのうはのうてれびでい」とふせんを貼り、はりきってとりくんでいました。普段からあまりテレビは見ないしゲームもまだないので、イベントをたのしむ感覚だったようです。目標達成できたことで、満足でした。
- 学校が終わり、すぐに少年団で帰ると夕食、お風呂を済ませて寝るだけなので何も使用せずに済んだ。
- 楽しくすごせた。TVとはちがうあそびを自分で考えてあそんだ。
- いつもテレビを見てると会話をあまりしないけど、テレビを消すと会話がたくさん生まれた。
- ママと遊んで良かった。たまになら、こんな日があっても良い。
- その日はいとこがきてできませんでした。
- アウトメディアデーを忘れていたので、今度はきちんと取り組みたいです。
- いつもゲームをしていないので、いつもどおりでゲームをしていません。



平成29年度 帯広第七中学校エリア・ファミリー活動計画

略称で「七中エリア」といいますが、平成29年度の計画を立てて進めています。

1 エリア概要

エリア名	帯広第七中学校エリア・ファミリー
構成ファミリー	帯広第七中学校, 大正小学校, 愛国小学校 ことぶき保育所, 愛国保育所, 大正愛国児童保育センター
組織	【会長】鈴木 義秋 (愛国小校長) 【副会長】川口 久 (第七中校長) 井出賀津雄 (大正小校長) 黒田 輝夫 (ことぶき・愛国保育所長, 児童保育センター長) 【事務局】◎能代雅彦 (愛国小教頭) ○渡辺弘司 (第七中教頭) ○氏家浩之 (大正小教頭)

2 活動内容

I 目標	
異なる学校種の関係者が、互いの教育の特質や課題について理解を深め、子どもたちの発達や学びの連続性を重視した教育活動を推進し、小1プロブレム・中1ギャップ防止に向けた適切な準備や対応を図る。	
II 情報の共有	
1 所属長会議	全ファミリー対象
2 小中生徒指導交流会	小中
3 小中教育課程交流会	小中
4 エリア授業参観日	全ファミリー対象
5 引き継ぎ・体験入学・入学説明会 (入学前の共通の申し合わせ等)	保小・小中
III 基本的生活習慣の確立	
1 毎月7日をエリアの日とする「アウトメディアデー」の設定 (平成29年7月7日より実施予定。年に2~3回程度。協力保護者・子どもから感想を収集し、所属所の通信等で紹介する。)	全ファミリー対象
2 1の宣伝チラシ・依頼状の配付・結果公表	〃
3 1の情報リーフレットの作成 等	〃
IV なめらかな接続と成長 (子ども同士の交流)	
1 合唱交流	小中
2 大正わくわくランド	保小
3 職場体験	中保・中小
4 保育実習	中保
5 合同バス学習	小小
6 合同修学旅行	小小
7 いじめ非行防止合同サミット (愛国・大正地区合同)	小小
8 その他の交流事業	
IV 発達支援・子育て支援	
1 教育講演会の実施 ※生徒指導連絡協議会総会と共催	小中
2 絆~運動会, 体育祭, 学習発表会, 文化祭, 入学式, 卒業式への相互参加 他	全ファミリー対象



★II-1「アウトメディアデー」は、従来「ノーテレビデー・ノーゲームデー」として行っていた取組ですが、近年、テレビ・ゲームよりユーチューブを見る時間が長い傾向にあります。H29年度から「北海道子どもの生活習慣づくり実行委員会」が推進している「どさんこアウトメディアプロジェクト」を受けての取組です。